

ITU-Tにおけるスマートグリッドに関する検討状況

平成 23年 5月18日
事務局

検討体制や会合開催概要

FG Smart設置目的

- 標準化に対する潜在的な影響の特定
- 将来ITU-Tにおいて検討すべき事項や関連するアクションに関する調査
- ITU-Tや標準化コミュニティがスマートグリッドに慣れ親しむこと
- ITU-Tとスマートグリッドコミュニティとのコラボレーションの奨励

→ ITU-Tで標準化を行うべき項目の調査・検討等が目的

議長等

議長: Les Brown (Lantiq, 独)
副議長: Li Haihua (MIIT 中国)
Hyung-Soo Kim (Korea Telecom 韓国)
櫻井義人(日立製作所 日本)
David Su (NIST 米国)

FG Smart開催状況

- Focus Group on Smart Grid(FG Smart)は、今研究会期の第2回TSAG会合(2010年2月)において、新たに設置された。
- この決定を受け、2010年6月にFG Smartの第1回会合が開催され、現在までに合計6回の会合が開催された。今後2011年12月まで引き続き検討が行われる見込み。
- 第4回会合(2010年11月)はNIST Grid Interop(米国)、第6回会合(2011年4月)は ETSI Workshop(フランス)と同時開催。また、第5回会合(2011年1月)は日本において開催。

これまでの検討状況

- FG Smartでは、3つのワーキンググループが設置され、ISO/IECをはじめとする他の標準化団体とリエゾンを取りつつ、寄与文書に基づき、全体概要(オーバービュー)、ユースケース、要求条件、アーキテクチャ、ターミノロジー(用語)の出力文書を作成中。
- 日本からも寄与文書を積極的に提出し、各出力文書の進捗に貢献している。
- 各出力文書の主な検討内容は以下のとおり。

Overview

第4回会合において、以下の3つの出力文書のほかに全体を俯瞰するOverview文書の検討が行われ、第3回TSAG(2011年2月)に報告された。

WG1 (Use Case)

NISTのUse Casesをベースに、新たなユースケースを追加する形で、出力文書の検討が行われた。出力文書についてはTSAG会合(2011年2月)に報告され、その後、引き続き空欄部分への情報の追記等が行われている。

WG2 (Requirement)

主にWG1に入力されたユースケースから要求条件を抽出する形で検討が進められてきたが、第4回会合でNISTから構成や内容重複等の問題提起があり、見直しを行うこととなった。現在、Overview文書に整合させる形で検討が行われている。

WG3 (Architecture)

NISTの概念モデル等、寄与文書をベースに検討が進められていたが、第4回会合でNISTから構成や内容重複等の問題提起があり、見直しを行うこととなった。現在、構成等をOverview文書に整合させるとともに、NIST、ETSI等の検討内容をベースに、機能モデル等の詳細が検討されている。

今後の予定等

第3回TSAG会合結果

Focus Group後の検討の枠組みや他のSDOとの連携等について議論が行われ(日本からの寄書に基づき審議)、以下の方向性を決定した。

- ITU以外の団体とも連携しつつ、Focus Groupの検討を2011年12月まで継続する(当初6月終了予定)。
- FG後のSmart Gridに関する検討体制については、次回TSAG会合(2012年1月)で検討する。
- ITU内の横断的な連携については、JCA-HNやJCA-IoTなど既存の枠組みを利用しつつ行い、各SGは所掌範囲内で検討を行う。
- IEC,ISO,IEEE等の他のSDOとの連携を推進する。

WSCの結果

TSAG会合で決定した「他のSDOとの連携強化」を受けて、ITU-T事務局と日本関係者の間で調整を行い、2011年2月に開催されたWSC(World Standards Cooperation)で、ITU-TからIEC/ISO/ITUの連携強化について提案。議論の結果、以下が合意された。

- IECのStrategic Group on Smart Grid(Strategic Group 3)に、ISO・ITUからも参加する。
- 本Strategic Group on Smart Gridにおいて、適切な時期を見計らって共同ワークショップを開催する。

今後の予定と検討課題

FG Smart会合の今後の予定:

第7回(2011年6月@韓国・濟州島)、第8回(2011年8月予定)、第9回(2011年12月予定)

- 次回6月会合までに出力文書を完成させた上で、他SDOからのコメント等を反映し、12月までブラッシュアップが行われる予定である。
- また、今後のスマートグリッドに関する検討の進め方(FG後の検討体制等)や他SDOとの連携方策等について検討予定である。
- FGの検討結果は2012年1月の第4回TSAG会合に報告予定であり、TSAG会合での議論を踏まえ、スマートグリッド技術分野における本格的な検討(勧告化等)が進められる見込みである。